

No.144  
2022/1/21



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



## 岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1  
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118  
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp  
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 名大職組とのzoom懇談会を開催

東海国立大学機構として名古屋大学と経営が統合されて1年以上が経ちましたが、昨年の11月29日に、初めて名大職組との懇談会をzoomで行いました。名古屋大学からは3名、岐阜大学からは6名の執行委員が参加しました。名大職組の状況を直接伺う初めての機会だったこともあり、団体交渉、当局との関わり方、機構長選挙、組合員拡大の方法、組合の組織構成などについて、いろいろと知ることができました。名古屋大学では、当局との関わりに、組合と学生自治会や大学院生の組織などとも連携を取っているといった話が印象的でした。名古屋大学からは岐阜大学の関門評価について質問を受けました。また、会計一元化や、今後の組合組織のあり方、機構直属の職員を組合組織にどう組み込むかなど、同じ機構としての将来を検討する機会となりました。

今後も情報交換を継続していく必要がありますので、3～4ヶ月に1回程度の頻度で懇談会（しばらくはzoomでしょうか）を行うことになりました。（三宅）

## 団体交渉に向けた要望の募集

12月下旬にも一斉メールでお知らせしましたように、今期の団体交渉に臨むに当たって、皆様から労働条件や大学運営に対する要望を広く募集します。これまでに、駐車場利用料（年額9000円：フルタイムでない職員への軽減）、自家用車利用による出張旅費（燃料費相当として1kmあたり10円：実情に見合っていない）、パートタイム職員の時給単価および昇給制度について、など、いくつか挙がっております。メール後に少しずつですが要望をいただいております。各支部の執行部経由等でも構いませんのでお寄せください。（三宅）

## 名刺印刷代の校費支払い

組合員から、名刺の支払いについて相談がありました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、法人化する前からの名残として、名刺は校費では払えないということになっていたようです。しかし、相談を受けて人事労務課に確認したところ、現在は校費支払いが可能という回答でした。いつからかそのようになっていたそうですが、必ずしも周知されているようではないようでしたので、取り上げさせていただきました。(三宅)

## 行事について

例年恒例の行事として、12月には若手忘年会、1月には新春のつどいを企画しておりましたが、いまだ収まらぬ新型コロナウイルス感染症のために中止せざるを得ませんでした。授業の多くはzoomやオンデマンドでの代替がかなり広まってきました。学会などでは、バーチャル空間内でアバターを使って懇親会を行ったりしており、私も何度か参加しましたが、元からの知り合いであればいざ知らず、それほどでもない関係の中で、ぎくばらんには会話をするのは、なかなかオンラインでは代替できないように思います。組合員が交流できる機会といえば食事を伴うものが大半であり、なかなか再開できる見通しが立ちませんが、度重なる中止にもめげずに計画したいと考えております。(三宅)

### 今後の予定



- |        |      |                        |
|--------|------|------------------------|
| 【開催計画】 | 3月上旬 | 退職・転職者を囲む会             |
|        | 4月下旬 | 新規加入者歓迎会               |
|        | 7月下旬 | サマーパーティー（担当：応用生物科学部支部） |

#### 【開催可否の判断基準】

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における岐阜大学の活動指針」における「6. 課外活動」の活動状態によって、開催するか否かを定める。

※2022年1月17日時点ではレベル4である。

⇒レベル4：全面活動停止

## 第38期中央役員あいさつ

### ◆ 中央書記長 三宅 崇（教育学部支部）

今期中央執行委員の多くの方がお互いに既知の中、全く初めての中で書記長を務めることとなりました（支部の書記長経験はありますが）。コロナ禍の中で大学は、教育活動に関してはオンラインなどに急速に展開し、むしろデフォルトとしてオンラインも“あり”な状況になってきましたが、組合活動はかなりしぼんだ状態です。それはなにより、前号で他の執行委員の方々も書かれていたとおり、集まって活動することが組合活動の根本にあるためでしょう。しかし活動が減り、身近さがなくなると、新規加入も見込めなくなってくるように思います。ですので、できる範囲で交流を中心に組合活動を模索していく必要があります。

また、このような中でも、名古屋大学との法人統合化により職場環境は確実に変化しつつありますが、どのような方向に向かっているのか見極められず、組合としても注視していくことが重要だと感じています。そのためにも名大の職員組合との交流も進めていきたいと思っています。

### ◆ 中央執行委員 酒向 隆司（応用生物科学部支部）

今期の中央執行委員を務めさせていただきます、応用生物科学部支部の酒向です。私は高等研究院全学技術センターに所属し、応用生物科学部のフィールドセンターに配置されている技術職員です。東海国立大学機構の設立に伴い、昨年度より岐阜大学の全技術職員は全学技術センターに一元配置されております。全く業務の異なる職員が同じ組織に所属することになったのですが、名古屋大学と同様の形態にする必要があったというのが一番の理由であり、技術職員側と十分な議論がなされない状況での変更でした。そのため、組織としてまだ未成熟な部分が多々あります。技術職員の組合組織率も決して高くない現状ではありますが、マイノリティである技術職員の声も、組合を通して執行部側に届けていけるよう、最善を尽くします。どうぞよろしくお願いいたします。

### ◆ 中央執行委員 舟越 久敏（教育学部支部）

これまで教育学部支部では執行委員や書記長を務めてまいりましたが、中央執行委員は初めてです。組合の良いところは、「組織を超えた組合員同士の交流」にあると考えています。先日の中央執行委員会で加入促進担当を仰せつかりましたが、コロナ禍でレクレーションなどの組合活動が制限される中、どのようにしたら組合に新規加入していただけるのか日々悩んでおります。こんな力不足な私ですが、組合員の皆様のご助言ご協力を賜りながら、少しでも皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

## 2022 大学共通テスト

今年の共通テストは、コロナ禍の濃厚接触者対応に加え、前日の大雪、文科省からの警備強化の依頼、さらには津波など、いろいろな非常事態がおきました。試験監督等で関わった皆様はご苦労様でした。写真は前日のキャンパスの様子です。

